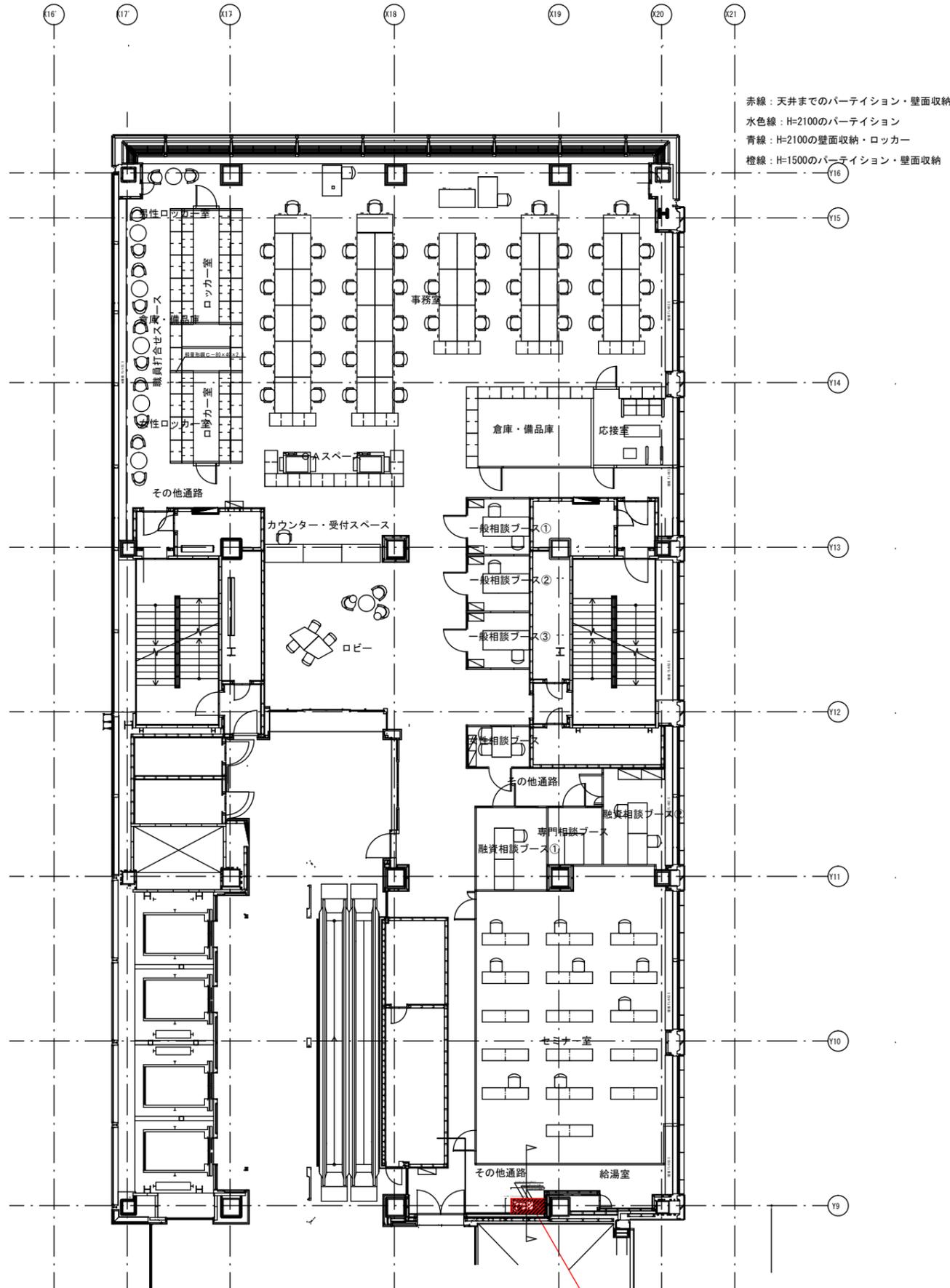


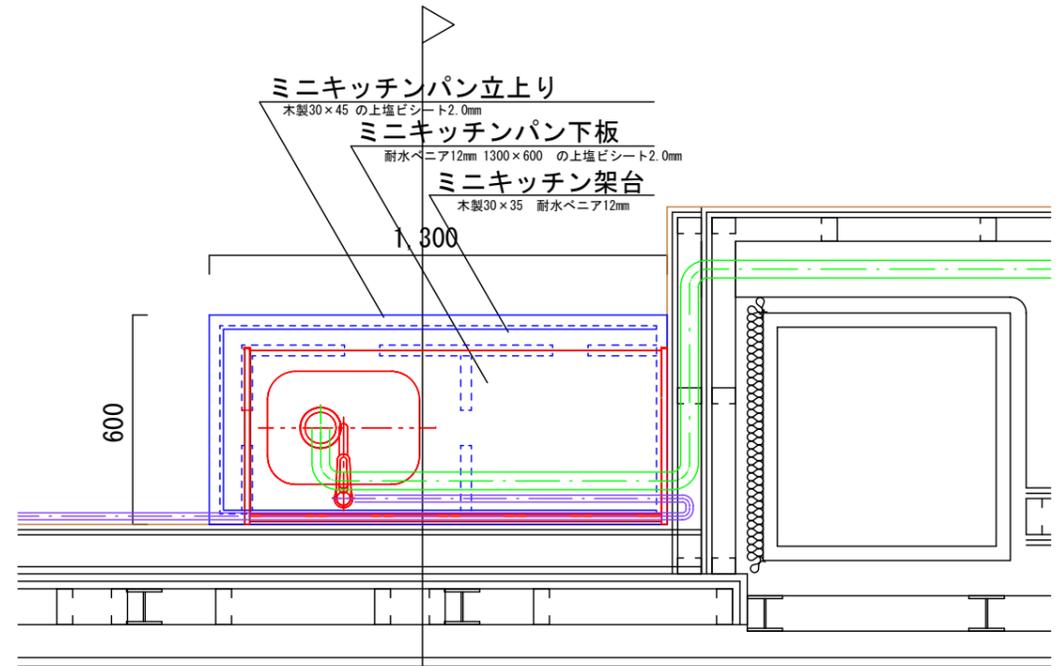
別紙2 パントリー一部詳細図



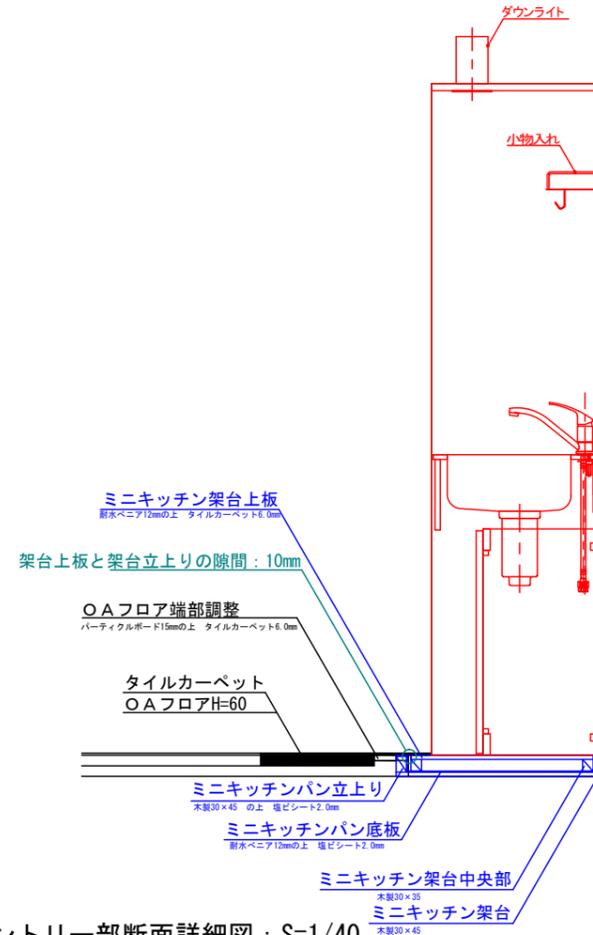
2階西側平面図 : S=1/200

赤線 : 天井までのパーティション・壁面収納
 水色線 : H=2100のパーティション
 青線 : H=2100の壁面収納・ロッカー
 橙線 : H=1500のパーティション・壁面収納

パントリー部 : 右図拡大図



パントリー部平面詳細図 : S=1/40



パントリー部断面詳細図 : S=1/40

パントリー部特記仕様	
ミニキッチン	ハウステックKM(コンロ無・冷蔵庫無)同等品
上部ユニット	KM-1208UGL/R 下部ユニット:KM-1208SSOML/R
ミニキッチン下部防水パン	パン構造: 底板W1300×D600×H60 耐水ベニアt=12 立上り: 木製30×45
防水構造	塩ビシート(溶接接着)
ミニキッチン架台	架台構造: 天板: 耐水ベニアt=12 木製30×35
施工順序	<ol style="list-style-type: none"> ミニキッチン部分のO.Aフロアをパネル単位で撤去する。 (撤去したO.Aフロアは別途再利用するため、完了時に監督員に返却する。) 撤去した範囲を採寸し、防水パンの施工図を作成し、監督員の承認を得る。 (パン形状の部分はミニキッチンの大きさより100mm~200mm程度大きい寸法とする) (パン形状以外の部分は、一般的なO.Aフロア端部仕上げとする。パーティクルボード15mm+木製下地30×45程度) 監督員の承認後に防水パン及びO.Aフロア端部調整部分を製作する。 パンの表面及び端部調整表面に塩ビシートを貼り付ける。 (塩ビシートは厚2mm溶接接着とし、貼付は一般的な塩ビシート用接着剤を使用する。) 塩ビシート貼付後にミニキッチン底部に合わせた下地(木製30×35程度)を設置する。 (下地と塩ビシート接着部は、シールで防水性を確保する。) 木製下地設置後に満水試験を実施し、監督員に報告書を提出する。 満水試験合格後(監督員確認後)に耐水ベニア12mmを取り付ける。 (耐水ベニアはパン寸法より小さくし、水が漏れた場合にその隙間からパンの方に落ちるようにする。) 監督員から指示が出た後に、現場にミニキッチンと共に搬入し、設置する。 (搬入は夜間とし、設置まで同日に行う。) パンはコンクリートスラブに接着剤で設置し、パンとミニキッチンはビス止め等設置する。) ミニキッチン設置後に、給排水設備などの設置、接続を行う。 既存タイルカーペットを貼り戻す。 (一部のカーペットはミニキッチン形状に合わせて切断加工する。)
注意事項	防水パンは、工場等で制作、組立を行い、水張り試験※で防水性を確認した上で現地に搬入する。 防水パンの制作、組立は現地では行わないこと。